



# 圏央道 横浜環状南線 庄戸地区における地質調査の実施について

東日本高速道路株式会社 関東支社 横浜工事事務所  
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所  
横浜市 道路局 横浜環状道路調整部

## 庄戸地区において地質調査を実施します。

【地質調査の状況】

地質調査は、基礎的な調査です。

- ・ 道路を設計する前に、地盤や地下水の状況を調べるものです。
- ・ 地表から土の中に、直径10cm程度の孔（あな）を掘って調べます。
- ・ あくまで「調査」であり、工事ではありません。



調査は、栄区庄戸の横浜環状南線の事業予定地として、既に確保されている土地の中で行います。



調査位置・期間は予定であり、現地状況等により変更することがあります。

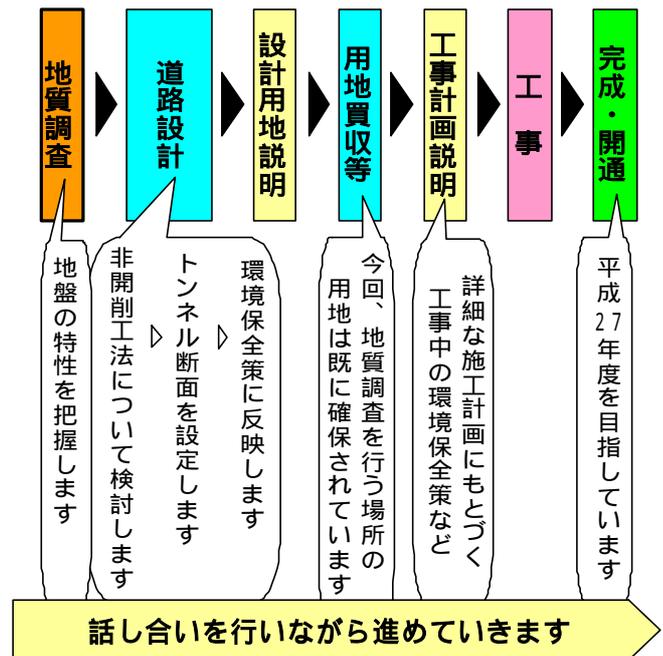
【庄戸地区道路事業予定地の調査箇所】

調査期間は、平成20年1月～3月を予定しています。

- ・ 1月22日より調査に着手する予定で住民の皆様へ説明いたしましたが、話し合いの結果、調査を一旦延期し、26日にあらためて地質調査の必要性について説明させていただいた上で、実施することとしました。

## 地質調査の後も、引き続き住民の皆様との話し合いを行ってまいります。

- ・ 調査後には、調査結果をお知らせします。
- ・ 調査結果を用いて、非開削工法の可能性や環境保全の方策などを検討します。
- ・ 検討にあたっては、引き続き住民の皆様と話し合いを行ってまいります。



詳しくは、ウェブサイト「よこかんみなみ」でご覧いただけます。

<http://www.yokokan-minami.com>

よこかんみなみ |

検索

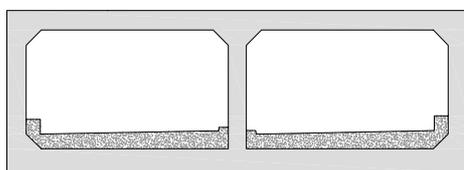
## 地質調査の結果を用いて、非開削工法について検討します。

- ・ 庄戸地区はトンネルで計画されていますが、従来は「開削工法」による施工が予定されていました。
- ・ 現在、工事中の周辺への影響がより少ない「非開削工法」の可能性を検討しています。
- ・ この検討を詳細に進めるためには、地盤や地下水の状況を把握する地質調査が必要です。

### 【従来予定されていた開削工法】



出典 国土交通省資料



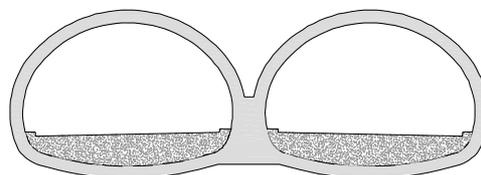
地表面から地面を掘り下げ、構造物を築造した後、上部空間を埋め戻して施工します。

### 【調査結果を用いて検討する非開削工法】



NATM工法の例

出典 日本道路公団資料



坑内を機械などで掘削し、後方へ土を搬出して掘り進みながらトンネルをつくっていきます。主な工事を地中で行うため、周辺への影響をより小さくできると考えられます。

## 圏央道 横浜環状南線（よこかんみなみ）とは？

- ・ 金沢区釜利谷～戸塚区汲沢を結ぶ8.9kmの高速道路で、首都圏を結ぶ延長約300kmの環状道路、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の一部です。
- ・ 平成27年度の開通を目指しています。圏央道のほとんどの区間は平成24年度までに開通する予定ですので、ネットワークを完成し市民生活や経済活動に寄与するため早期に整備を進める必要があります。
- ・ 現在、沿線住民の皆様と話し合いを行いながら、調査・設計、用地買収などを行っています。



詳しくは、ウェブサイト「よこかんみなみ」でご覧いただけます。  
<http://www.yokokan-minami.com>

よこかんみなみ |

検索